

No.	提言者	提言テーマ	提言内容	事業化検討結果
1	井口 礼	投票率9割超、積極的な政治参画が当たり前の社会に	2026（令和8）年度に行われる品川区長選挙で、子ども（小学1年生以上の未成年）が品川区長選挙の立候補者に投票する「こどもせんきょ」を正規の選挙と同日に開催する。また、子どもたちが主体的に学び選挙に関心を持てるように、「こどもせんきょこうほう」の作成や「公開討論会」等を実施する	<p>子どもたちが議会の仕組みについて知る機会を作り、議会をより身近に感じてもらうことで、議会や行政への関心を持つきっかけをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちを対象とした主権者教育事業の拡充（<b>新規事業化</b>）</li> <li>・子どもたちを対象にした主権者教育事業用パンフレットの制作や議場見学等の実施を通じて、子どもたちに議場の目的や役割などを学ぶ機会を提供し、議会への興味を引き出す契機とする</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●しながわシティラボを通じた課題発信（<b>既存事業のアップデート</b>）</li> <li>・しながわシティラボ（*）を通じて課題発信を行い、提案企業・団体を募集し、令和8年度に実施される選挙の立候補者による公開討論会を実施する</li> <li>*品川区と企業等をつなげ、官民連携により社会課題の解決を目指すオープンイノベーションの仕組み</li> </ul>
2	大澤 ゆり	SNS犯罪・トラブルに巻き込まれる子どもを守るために	「市民科」のカリキュラムにSNS講演会の実施を義務化し、保護者も参加可能とすることで親子でSNSリテラシー向上を目指す。また、学校が講演会をスムーズに実施できるように「しながわSNS安全支援パック」というサポート制度を設ける。「広報しながわ」へのコンテンツ掲載やSNS利用実態調査の定期実施を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNS講演会実施支援（<b>既存事業の拡充</b>）</li> <li>・SNS講演会を実施している学校講師のリストを、講演会未実施の学校へ情報提供するなど、児童・生徒のSNSへの正しい理解を深めていく</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●SNS利用実態調査の定期実施（<b>既存事業のアップデート</b>）</li> <li>・国の調査項目を参考に、品川区が実施している「児童・生徒、保護者アンケート」への項目追加を検討する</li> </ul>
3	片柳 凜南	デジタル情報発信力を強化し、区民の「知らなかった」をなくす	若者世代への公式LINEのプロモーションを強化し、区民一人ひとりに合わせた情報のセグメント配信を行う。さらに、小中学生へのiPadを使ったデジタル情報発信を通じて、情報を必要としている人にニーズにあった情報が行き渡る仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●LINEを含む区公式SNS認知度向上を目指したPR実施（<b>新規事業化</b>）</li> <li>・SNSフォローを目的にQRコード等を掲載した名刺サイズのカードやA4サイズのチラシを作成し、商業施設等に配架する</li> <li>●「広報しながわ」で区公式SNSをPR（<b>既存事業のアップデート</b>）</li> <li>・令和8年4月以降に発行する「広報しながわ」の表紙に、各種SNSのQRコード等を掲載する</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ターゲット層を意識した公式LINEセグメント配信（<b>既存事業のアップデート</b>）</li> <li>・既存のセグメントに加えて、新たに年代別にLINEセグメント配信を行う</li> <li>●しながわオープントークのPR【<b>令和7年度対応</b>】（<b>既存事業のアップデート</b>）</li> <li>・広報しながわ12月11日号で、「しながわオープントーク」における若者世代から意見を募集する企画について紹介を行った</li> </ul>
4	忽那 克樹	タバコの害を与えない受けない社会へ	若い世代の受動喫煙ゼロを目指し、通学時間帯の禁煙への協力を呼びかける。また、小中高生が参加するポスターコンクールやSNSを活用した情報発信により、禁煙への気運醸成、タバコの害への理解促進を図っていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通学時間帯の受動喫煙対策啓発の強化（<b>既存事業の拡充</b>）</li> <li>・受動喫煙対策として、ふれあい掲示板または町会掲示板へのチラシ貼付により、通学路における喫煙への配慮について啓発を行う</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東京都が実施しているポスターコンクールの周知（<b>既存事業のアップデート</b>）</li> <li>・東京都が実施している「20歳未満喫煙防止・受動喫煙防止ポスターコンクール」の周知を強化するため、区HPや区SNSで発信を行う</li> <li>●SNS等の活発化【<b>令和7年度対応</b>】（<b>既存事業のアップデート</b>）</li> <li>・毎年5月の世界禁煙デーに行っている禁煙啓発に関するSNS発信に加え、令和7年度から11月の世界COPDデーにもSNS発信での禁煙啓発を行った</li> <li>・令和8年度以降も年に数回の発信が出来るように啓発の強化を行う</li> </ul>
5	甲府方 美咲	教員の業務負担軽減に向けた大学との連携強化	品川区が「働き続けたい職場・しながわ～学校における働き方改革推進プラン～」で掲げている「月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教員をゼロにする」という目標の達成に向けて、区内6大学との包括協定を活用した大学生による教員支援促進を提案。大学生の支援員が増えることにより、学校教員の負担軽減&子どもと向き合う時間の増加、そして未来の教員志望者育成にもつなげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内大学との連携強化（<b>既存事業のアップデート</b>）</li> <li>・大学生による教員支援促進のため、大学生が参加可能な事業を整理したうえで、区内6大学それぞれに対して個別訪問して説明し、大学側に単位認定等の検討を依頼する</li> </ul>

No.	提言者	提言テーマ	提言内容	事業化検討結果
6	清水 理桜	西大井駅周辺の明るいまちづくり	西大井駅前のロータリー、駐車場、広場等でキッチンカー・屋台・ハンドメイド出店によるマルシェイベントを開催する。また、「にぎわいと人とのつながりができる理想の広場」をテーマに、西大井駅前広場の理想的な使い方・空間デザインを募集するコンペを実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マルシェの開催（既存事業の拡充） <ul style="list-style-type: none"> <li>・西大井創業支援センターが実施するアントレプレナーシップ教育の一環として、区内在住もしくは在学の児童・生徒を対象に西大井駅前マルシェを企画・実施する</li> </ul> </li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンケート調査の実施【令和7年度対応】（既存事業のアップデート） <ul style="list-style-type: none"> <li>・西大井周辺地区のまちづくりに関するアンケートに、西大井周辺地区および駅前周辺地区で取り組んでほしい内容として、「飲食店・店舗（食料品や日用品）の整備」や「娯楽施設の整備」等の項目を追加し、11月中旬に10,000件のポストイングを実施した</li> <li>・アンケート結果については、令和9年度に策定予定の「（仮称）西大井地区まちづくりビジョン」に反映する予定</li> </ul> </li> </ul>
7	園田 彩桜	旧東海道の活性化 ～立会川から青物横丁～	立会川から青物横丁エリアの活性化に向けて、歴史やグルメなどが楽しめるマップを作成し、主に大井競馬場で開催されるフリーマーケットやシアターHを訪れた人々に足を運んでもらう。同時に地域のボランティアによるツアーや品川区のSNSでの発信も強化し、マップでは伝えきれない魅力も発信していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マップ作成（既存事業の拡充） <ul style="list-style-type: none"> <li>・しながわシティランのランナー約3,000名に対し、シティランの会場案内図や旧東海道を含むコース周辺の観光情報等を記載したマップを作成し、大会プログラムとともに郵送する</li> </ul> </li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●まち歩きツアー（継続検討） <ul style="list-style-type: none"> <li>・しながわ観光協会やボランティア団体である「ガイドしながわ」や「大田・品川まちめぐりガイドの会」と連携し、旧東海道エリアでのまち歩きツアーの内容と周知について検討する</li> </ul> </li> <li>●SNS発信（既存事業のアップデート） <ul style="list-style-type: none"> <li>・しながわ観光協会のHPやSNSを活用し、品川区のイベント情報や地域のお店など観光情報を発信する</li> </ul> </li> </ul>
8	福田 結奈	地域企業と連携したSTEAM教育による人材育成	区、学校、企業が連携して体験型イベントや出前授業を実施し、SNSや地域メディアを活用して取組みを発信する。また、地元企業と学校が連携した課題解決型プロジェクトや講座を開催するとともに、企業と連携した長期プロジェクトやインターンを実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●探究的学習の推進（新規事業化） <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業・民間団体と連携し、探究的な学習を推進する</li> </ul> </li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●体験活動等の実施（既存事業のアップデート） <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業からの提案を学校へ共有し、各学校で実施している探究的な学習内における体験活動等へつなげていく</li> <li>・区内高専と連携し、STEAM教育の体験活動等を実施する</li> </ul> </li> <li>●取組み内容の学校間共有（既存事業のアップデート） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業と学校で連携して課題解決に取り組んでいる事例を学校長会等で共有する</li> </ul> </li> </ul>
9	古谷 凜花	「危機感の継承」をテーマとした新しい環境モデルを導入し、品川区を23区の環境教育の先導都市にする	「危機感の継承」を軸とした新しい環境教育モデルを提案する。品川区立学校5～7年生が低学年へ授業を行う体験型プログラムを実施。学びを“教える”体験を通じて深い理解と責任感を育み、次世代へ環境保全の意識をつなぐ仕組み。学校やエコルとごしとの連携を強化し、品川区を環境教育の先導都市にすることを目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習シートの作成（既存事業のアップデート） <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案者と意見交換を実施し、学習シートの作成およびエコルとごし内で学習シートを紹介する企画展示を実施する</li> <li>・作成した学習シートは、各学校に展開し、エコルとごしでの社会科見学と合わせて、振り返り学習や縦割り授業等、各学校の実態に即した活用により、環境保全の意識を高める</li> </ul> </li> </ul>
10	南 大暉	子ども食堂を軸とした子ども支援の促進	子ども食堂を子どもの貧困のための場所ではなく、「第三の居場所」としてという広報活動を行う。そのために、SNSや学校掲示板、区報を活用する。また、子ども食堂の機能に応じた段階的な補助金を交付することで、「第三の居場所」としての環境づくりを促進する	<p>子ども食堂を「第三の居場所」として認知を広げることは重要である。同時に、子ども食堂はボランティアによる自主的活動であるため、運営者の意向を尊重し進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども食堂の周知活動（既存事業のアップデート） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第三の居場所」については、子ども食堂運営者の意向を踏まえ、SNS等での周知を行う</li> </ul> </li> <li>●段階的補助金（継続検討） <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂運営者の意見も踏まえ検討する</li> </ul> </li> </ul>